

企業内人権教育啓発誌

妙蓮

みょうれん

Vol. **36**
2023
1月発行



守山市企業内人権教育推進協議会シンボルマーク

守山市企業内人権教育推進協議会

編集発行人 北野 悟

<http://www.usennet.ne.jp/~mori-kjk/>

◆第9回事業所内人権教育公正採用研修会報告

- ・日 時 令和4年8月25日（木）午後1時30分～午後3時
- ・場 所 守山市民ホール 学習室1
- ・参加者 33社 42名（オンライン参加者含む）
- ・演 題 「進路保障と人権」
- ・講 師 ますもと よしひと 榎本 義人 さん（滋賀県進路保障推進協議会 事務局長）



詳しくはコチラ
滋賀労働局HP

採用選考において、被差別部落出身者を排除することを目的に利用された部落地名総鑑事件を契機に、滋賀県独自の組織である滋賀県進路保障推進協議会が設立された経緯や、高校生等の進路を保障するための取組について、わかりやすくお話しいただきました。

また、不適切質問や不適正事象についても具体的にお話しいただき、採用選考では仕事をするにあたっての能力と適性のみで判断するという基本について改めて認識することができました。

アンケート より抜粋

- 面接でのなにげない質問が、相手を傷つけていたのかも…。発する言葉の重要性を再認識した。
- 自分が担当する部署は、学生と接する機会が多くあります。『昔はこんな質問当たり前に聞いていたのに。』ではなく、時代が変化しているので、アジャスト（調整）していかなければと感じました。

◆第45回事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会報告

- ・日 時 令和4年10月14日（金）午後2時～午後4時
- ・場 所 守山商工会議所 201号室
- ・参加者 29社 31名（オンライン参加者含む）
- ・演 題 「発達障がい理解と支援 ～職場における対応について～」
- ・講 師 ふじい しげき 藤井 茂樹 さん（大阪体育大学 教育学部教育学科 特任教授）



今回の講演では、多数の事例を用いて、職場における発達障がいのある従業員への対応についてご講演いただきました。障がい者ご本人も、自身の特性を知ることによって支援を求められたり、周りの方も障がいの困難さを知ることによって対応がしやすくなったりするため、「知る」ことの大切さを学びました。また、当事者を取り巻く「環境調整」の大切さと、具体的な支援内容についても教えていただきました。

アンケート より抜粋

- これを第一回とし、研修を積み重ねていきたい。
- 職場や社会生活においてその人の特性を知り、理解して、自然に支えていきたい。
- 以前、働いていた職場の方に何となく感じていた違和感が、事例にあてはまり納得しました。その方もしんどかっただろうと思います。

◆現地視察研修会報告

- ・日 時 令和4年11月22日（火）午前8時15分～午後4時30分
- ・研修先 世界遺産 平等院 と ウトロ平和祈念館（京都府宇治市）
- ・参加者 13名 事務局3名
- ・研修内容 「ウトロ地区の歴史とウトロ平和祈念館のメッセージ」
- ・講 師 たがわ あきこ 館長 田川 明子 さん きむ すふあん 副館長 金 秀煥 さん（ウトロ平和祈念館）



午前中は、宇治市ボランティアガイドの案内で、照り紅葉の平等院を拝観しました。2014年の改修により、建設当時の様子に再現された建造物や、鳳翔館内に保管されている宝物の説明を写真や資料を交えて、丁寧にご説明いただきました。

午後からは、ウトロ平和祈念館へ訪問し、館長からウトロ地区の歴史や、そこに暮らしてきた在日コリアンの方の生活についてお話をお伺いしました。差別されてきた過去や、それでも前向きに明るく生きようとしている姿勢を、大変わかりやすくご説明いただき、「差別や偏見のない社会の実現には、マジョリティが立ち上がらなければならない」との言葉が印象的でした。

また、2021年8月に放火事件が発生したウトロ地区の現場は、被害の大きさを物語る無残な状況でした。犯人が放火に至った原因を究明する中で、それを止められなかった社会を変えていきたいと力強く語られていました。



参加者 アンケート より抜粋

- 差別され、攻撃されてもなお「仲良くなりたい」という在日コリアンのウトロの方たちの思いに触れることができた。今日の「出会い」を大切に。見ぬふりをしない、共に立ち上がる人でありたいと思った。
- 現地で生の声が聞けて良かった。差別や偏見に負けずに力強く生きている人たちの姿や寛容な心意気に触れて、改めて人権意識の高揚が大切だと思った。

❖人権学習の取り組み

●株式会社三社電機製作所 滋賀工場



株式会社三社電機製作所は大阪にて1933年に創業を開始し、2023年に創業90周年を迎えます。

三社電機製作所は『経営理念』のひとつである『社会に価値ある製品を』のもと、強みである電力変換技術を活かし、環境・エネルギー分野、インフラ・設備機器分野、エンターテインメント分野を支える多種多様な電源機器やパワー半導体の開発・製造を行い、社会の発展に貢献しております。

滋賀工場は1982年に守山市勝部町にて操業を開始し、2022年で40周年を迎えており、三社電機グループの電源機器事業のマザー工場として生産活動を推進してまいりました。

昨今は、国際社会が様々な社会・環境問題に直面し、持続可能な社会づくりに向けた企業の取り組みが求められる中、当社は、事業と社会の共通価値を創造することに努めてまいりました。

人権啓発への具体的な取り組みとしては、行政主催の研修会への参加や、毎年11月を『ハラスメント防止強調月間』として、管理者対象のハラスメント防止研修やeラーニングの実施、風通しの良い職場づくりを目指して職場懇談会を開催しています。

また、女性活躍や育児休業復職サポートの取り組みを積極的に推進するとともに、障がい者の雇用促進にも取り組んでいます。2022年9月には、障がい者の社会参加と自立に貢献した功績が認められ、「障害者雇用優良事業所」(※)として滋賀県知事表彰を受けました。

今後も、経営理念に基づき、差別や偏見のない明るい職場づくりに努めていくとともに、サステナブルな社会を目指す活動を推進してまいります。

※(事務局注) 社会における障がい者雇用の理解を広め、今後の障がい者雇用促進と職業の安定に寄与することを目的として、滋賀県が優良事業所を選定している。2022年度は、株式会社三社電機製作所 滋賀工場を含め3事業所が表彰された。

●JNCファイバース株式会社 守山工場



JNCファイバース株式会社守山工場は、衛生材料に多く使用されている熱可塑性樹脂を成分とする合成繊維と不織布の開発と製造、および、生分解性樹脂などを用いた環境配慮型の新材料の開発を行っています。

守山工場は、守山市における企業誘致第一号の工場です。1956年、新日本素案肥料株式会社の子会社である日窒アセテート株式会社がアセテート繊維の生産を開始しました。その後、チッソ株式会社がポリプロピレン樹脂の事業を始め、1963年にチッソポリプロ繊維株式会社を設立し、ポリプロピレン繊維の生産を開始しました。そして2011年にチッソの事業継承会社としてJNCファイバース株式会社へ社名を変更しました。

チッソ株式会社創立100周年である2006年には、守山市が進める「ホタルのまち ふるさと守山」を実現するために、“地域との「水」を通した『共生』”を目指し、守山工場内へホタル人工飼育施設を設営し幼虫飼育、工場内ビオトープエリアへ幼虫を放流することにより自生を促進する生物多様性の保全活動を継続しています。

人権啓発への取り組みについては、社内システムのe-ラーニングを利用し、増え続けているSNSを利用した人権侵害などの事例も内容に取り入れた「ハラスメント教育」を実施しています。ハラスメントが社内発生した場合は、相談窓口として契約している外部機関へいつでも安心して相談できるシステムを構築・運用しています。

また、「産後パパ育休の創設と育児休業の分割取得」などの育児休業法改正に合わせた働きやすい仕組みづくりに取り組んでいます。

差別のない社会にしていけるためには、制度も一人ひとりの意識も多様性を理解し対応していくことが必要です。

変化に迅速に対応しつつ、弊社のモットーである「安全常に」、「品質第一」、「人にやさしく」を意識し「よろこびを化学する」企業として、JNCファイバース株式会社守山工場は皆様と共に守山市で事業を継続していきます。

人権啓発DVD NEW

「よかったら“想い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～」

ハラスメント、性自認、外国人、障害者、働き方、部落差別...職場における6つのテーマを切り口に相手の想いを聴くこと、自分の想いを伝えること、お互いを受け止めあうことの大切さを考え学んでいく教材です。

【制作2022年 上映時間29分】



「レインボーストーリーズ①職場 ～声に出せないハラスメント～」

トランスジェンダーが直面する職場での様々な事例が描かれています。性的指向と性自認の多様性を知り、その啓発と環境整備を進めるためのヒントを示します。

【制作2022年 上映時間25分】



「企業と人権 職場からつくる人権尊重社会」

「人権問題」への対応は、企業の価値に大きく関わります。ハラスメント、LGBTQ+、障害者、外国人、えせ同和行為等の取組事例について、研修会で活用しやすいよう解説を交えて構成されています。

【制作2017年 上映時間40分】



企業・事業所内での人権啓発に無料で貸し出します。是非ご活用ください。

「もーりー」コラボ啓発品完成

ウェットティッシュ
除菌タイプ



すべての人権が尊重される
明るい職場をつくりましょう！
守山市企業内人権教育推進協議会
TEL 077-582-1131
E-mail shokokanko@city.moriyama.lg.jp



付箋



◆今後の行事予定

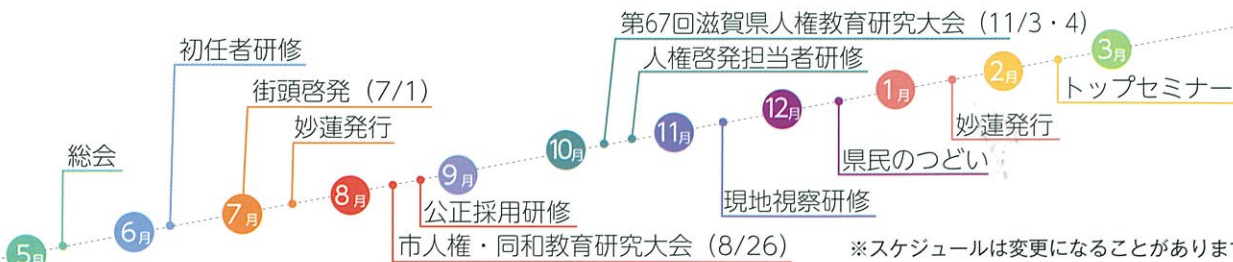
●第37回トップセミナー

- ・日 時 令和5年2月24日（金）
午後2時～午後4時
- ・場 所 守山商工会議所 201号室
- ・演 題 「アサーティブ・コミュニケーション
でパワハラ防止」
- ・講 師 みき けいこ
三木 啓子 さん
(アトリエエム株式会社 代表取締役)

会場参加、オンライン参加
どちらでもOKです。
みなさまのご参加をお待ちしています。

事務局からのお知らせ 令和5年度事業 年間計画

守山市企業内人権教育推進協議会では、年間を通して様々な研修会等の事業を実施しています。令和5年度事業につきましても、下記のとおり計画を予定していますので、積極的なご参加をお願いします。



発行元 守山市企業内人権教育推進協議会 事務局：守山市役所 商工観光課内

TEL:077-582-1131 FAX:077-582-1166

✉ shokokanko@city.moriyama.lg.jp 〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号